

食育ピクトグラムについて

令和2年度第4回食育推進評価専門委員会 参考資料3からの修正
(修正点)
1 食育ピクトグラムの内容の一部修正（ピクトグラム3、5）
2 食育ピクトグラムと第4次食育推進基本計画の目標値との対応関係の追加（別紙参照）

別紙

	キャッチコピー		カテゴリー	内容	4次計画の目標値との 対応関係（別紙）
1	みんなで楽しく食べよう		共食	家族や仲間と、会話を楽しみながら食べる食事は、心も体も元気にします。	②③
2	朝ご飯を食べよう		朝食欠食の改善	朝食の摂取は、健康的な生活習慣につながります。	④⑤
3	バランスよく食べよう		栄養バランスの良い食事	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事で、バランスの良い食生活になります。また、減塩や野菜・果物摂取にも努めましょう。	⑨⑩⑪⑫⑬
4	太りすぎない やせすぎない		生活習慣病の予防	適正体重の維持や減塩に努めて、生活習慣病を予防します。	⑭
5	よくかんで食べよう		歯や口腔の健康	よくかんで食べるにより歯の発達・維持、食べ物による窒息を防ぎます。 よくかんでおいしく食べるためには口腔機能が十分に発達し維持されることが重要です。	⑮
6	手を洗おう		食品の安全性の確保等	食品の安全性等についての基礎的な知識をもち、自ら判断し、行動する力を養います。	⑳
7	災害にそなえよう		災害への備え	いつ起こるかもしれない災害を意識し、非常時のための食料品を備蓄しておきましょう。	
8	食べ残しをなくそう		環境との配慮（調和）	SDGsの目標である持続可能な社会を達成するため、環境に配慮した農林水産物・食品を購入したり、食品ロスの削減を進めたりします。	⑱⑲⑳
9	産地を応援しよう		地産地消等の推進	地域でとれた農林水産物や被災地産食品等を消費することは、食を支える農林水産業や地域経済の活性化、環境負荷の低減につながります。	⑥⑦⑧⑱⑲
10	食・農の体験をしよう		農林漁業体験	農林漁業を体験して、食や農林水産業への理解を深めます。	⑰
11	和食文化を伝えよう		日本の食文化の継承	地域の郷土料理や伝統料理等の食文化を大切にして、次の世代への継承を図ります。	㉑㉒
12	食育を推進しよう		食育の推進	生涯にわたって心も身体も健康で、質の高い生活を送るために「食」について考え、食育の取組を応援します。	①⑱㉔

第4次食育推進基本計画における食育の推進に当たっての目標

第4次食育推進基本計画では以下のように目標値を設定して取り組みます。

具体的な目標値			現状値(令和2年度)	目標値(令和7年度)
目標番号				
1	食育に関心を持っている国民を増やす			
1	食育に関心を持っている国民の割合	83.2%	90%以上	
2	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす			
2	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.6回	週11回以上	
3	地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす			
3	地域等で共食したいと思う人が共食する割合	70.7%	75%以上	
4	朝食を欠食する国民を減らす			
4	朝食を欠食する子供の割合	4.6%※	0%	
5	朝食を欠食する若い世代の割合	21.5%	15%以下	
5	学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす			
6	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月9.1回※	月12回以上	
7	学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値(令和元年度)から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上	
8	学校給食における国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値(令和元年度)から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上	
6	栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす			
9	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.4%	50%以上	
10	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.4%	40%以上	
11	1日あたりの食塩摂取量の平均値	10.1g※	8g以下	
12	1日あたりの野菜摂取量の平均値	280.5g※	350g以上	
13	1日あたりの果物摂取量100g未満の者の割合	61.6%※	30%以下	

注) 学校給食における使用食材の割合(金額ベース、令和元年度)の全国平均は、地場産物52.7%、国産食材87%となっている。

具体的な目標値			現状値(令和2年度)	目標値(令和7年度)
目標番号				
7	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす			
14	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	64.3%	75%以上	
8	ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす			
15	ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	47.3%	55%以上	
9	食育の推進に関わるボランティアの数を増やす			
16	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	36.2万人※	37万人以上	
10	農林漁業体験を経験した国民を増やす			
17	農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合	65.7%	70%以上	
11	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす			
18	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	73.5%	80%以上	
12	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす			
19	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	67.1%	75%以上	
13	食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす			
20	食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	76.5%※	80%以上	
14	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす			
21	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	50.4%	55%以上	
22	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合	44.6%	50%以上	
15	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす			
23	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	75.2%	80%以上	
16	推進計画を作成・実施している市町村を増やす			
24	推進計画を作成・実施している市町村の割合	87.5%※	100%	

※は令和元年度の数値